

2008年(平成20年)5月14日 水曜日

国際

6

## 入国の目途立たず

AMDA調整員が帰国

国際医療ボランティアAMDA(本部・岡山市檜津)は十三日、サイクロン被災者支援のため、ミャンマーに向けて派遣した谷口敬一郎調整員(三十八)が、同国入国に必要なビザ発給の目途が立たず、一時滞在地のタイから帰国したと発表した。

ミャンマーへの入国ビザを申請する一方、日系企業などに協力を打診するなど支援活動実施に向けた準備に当たっていた。

AMDAは十一日から、ミャンマー最大都市ヤンゴンで巡回診療を実施。医師、保健師、補助スタッフのミャンマー人計九人が担当し、一日百五十一百二十人の患者を診ているという。(水嶋佑香)

谷口調整員は八日に岡山市を出発。タイの首都バンコクに入り、